

精神保健福祉士と社会福祉士の 共通科目について

現行精神保健福祉士養成施設養成課程等と試験科目

| 精神保健福祉士養成施設養成課程 | 時間数 | 法第7条第1号 (指定科目) | 法第7条第2号 (基礎科目) | 精神保健福祉士試験科目 |
|-----------------|-------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| 社会福祉原論 | 60 | 社会福祉原論 | 社会福祉原論 | 社会福祉原論 |
| 社会保障論 | 60 | } 左の科目のうち1科目 | } 左の科目のうち1科目 | 社会保障論 |
| 公的扶助論 | 30 | | | 公的扶助論 |
| 地域福祉論 | 30 | | | 地域福祉論 |
| 心理学 | 30 | } 左の科目のうちの1科目 | } 左の科目のうち1科目 | 心理学 |
| 社会学 | 30 | | | 社会学 |
| 法学 | 30 | | | 法学 |
| 医学一般 | 60 | 医学一般 | 医学一般 | 医学一般 |
| 精神医学 | 60 | 精神医学 | — | 精神医学 |
| 精神保健学 | 60 | 精神保健学 | — | 精神保健学 |
| 精神科リハビリテーション学 | 60 | 精神科リハビリテーション学 | — | 精神科リハビリテーション学 |
| 精神保健福祉論 | 90 | 精神保健福祉論 | — | 精神保健福祉論 |
| 精神保健福祉援助技術総論 | 60 | 精神保健福祉援助技術総論 | 精神保健福祉援助技術総論 | 精神保健福祉援助技術 |
| 精神保健福祉援助技術各論 | 60 | 精神保健福祉援助技術各論 | — | |
| 精神保健福祉援助演習 | 60 | 精神保健福祉援助演習 | — | — |
| 精神保健福祉援助実習 | 270 | 精神保健福祉援助実習 | — | — |
| 合計(16科目) | 1,050 | 時間数(単位数)及び シラバスの規定なし | 時間数(単位数)及び シラバスの規定なし | ・13科目 ・出題数150問 ・試験時間240時間 |
| 下段は短期養成課程の時間数 | 660 | | | |

※ は社会福祉士との共通科目

共通科目とその設定の考え方

概要

- 社会福祉士と現行の試験科目及び指定科目(養成課程上の科目)において共通した科目。
- 社会福祉士有資格者(または、精神保健福祉士有資格者)については、精神保健福祉士(または、社会福祉士)における試験科目において、共通科目における試験科目免除及び、指定科目における共通科目の履修免除が認められている。
- なお、試験科目における共通科目については、同じ問題が使われている。

共通科目を設定する基本的考え方

社会福祉士と精神保健福祉士については、その政策目的が異なることから別法によって資格を定めているが、①両者ともケースワークやグループワークといったソーシャルワーク技法を用いて相談援助を行うこと、②両資格とも社会福祉原論や地域福祉論といった社会福祉制度等に関する基礎的な知識を必要とすること等その専門性において共通の基盤を有することから、可能な範囲で共通科目を設定し、試験及び履修の免除を認めることで、両資格に求められる知識・技術に係る水準の同一性を担保している。

士士法の改正を踏まえたカリキュラムの見直しの進め方について

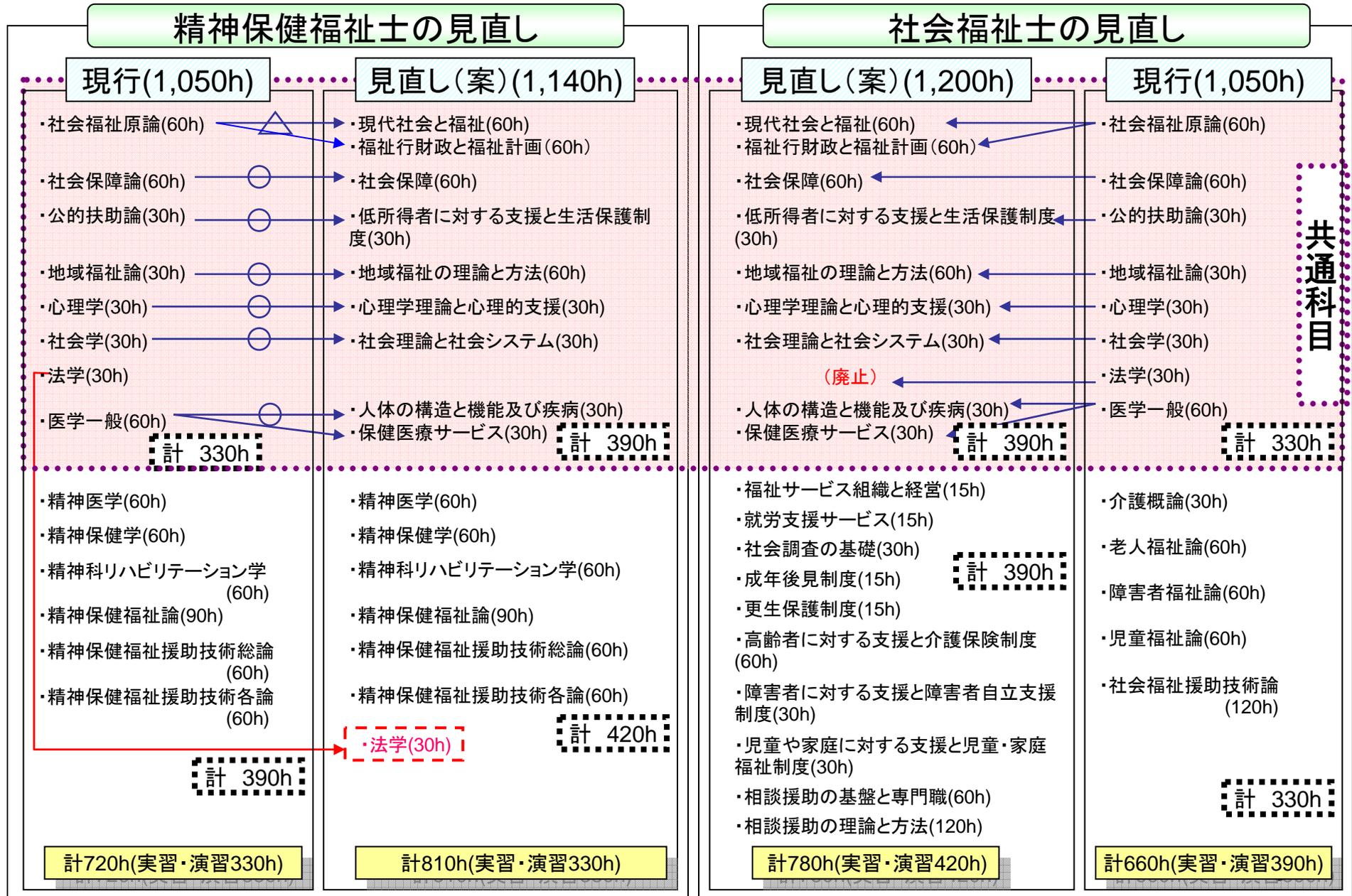
背景

- 両資格を取り巻く環境の変化に違いはあるものの、社会福祉制度等に関する基礎的な知識を必要とすること等その専門性において共通する基盤があり、両資格に求められる知識・技術に係る水準の同一性を担保する必要があることから、精神保健福祉士の養成の在り方の見直しに当たっては、共通科目制度を維持することが妥当であると考えられる。
- また、社会福祉士のカリキュラムの変更に伴い、共通科目が維持できなくなった場合に以下のような問題が考えられることから、共通科目制度を維持する必要がある。
 - ①受験者の負担増(両資格を取得しようとした場合、同一の科目を2度履修及び受験しなければならない。)
 - ②養成校の運営上の負担増(教員・教材の確保、受講生離れ等)

検討の進め方

- 1 共通科目制度を維持することを前提に、社会福祉士のカリキュラムの変更に伴う現行の共通科目に相当する科目を共通科目として位置づけることについての妥当性を先行して検討する。
- 2 次の段階として、
 - ①上記以外の科目について、さらに共通科目として位置づけるかどうかの検討、(共通科目の範囲をどこまでとするのかという検討)
 - ②共通科目以外の科目の内容に係る検討については、精神保健福祉士としての従来の役割に加え、今後担うべき役割等を踏まえ、養成の在り方全般の議論の中で検討を行うこととする。

精神保健福祉士のカリキュラムと社会福祉士におけるカリキュラムの見直し(共通科目関係)



共通科目

※ 矢印上にある印のうち、○印は共通科目として位置づけることが妥当である科目。△印は条件付きで共通科目として位置づけることが必要な科目。

精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

| 社会福祉原論(現行) | |
|---|--|
| <p align="center">目標</p> 1 現代社会における社会福祉の理念と意義について理解させる。 2 社会福祉の対象と援助の形態及び方法について、老人や障害者を中心に介護との関係に十分留意させつつ理解させる。 3 社会福祉サービス体系の概要について理解させる。 4 社会福祉の専門職と倫理について理解させる。 5 社会福祉関係職種の内容について理解させる。 6 社会福祉の法体系、実施体制及び財政全体の概要について理解させる。 7 社会福祉を巡る我が国及び諸外国の動向について理解させる。 | |
| <p align="center">内容</p> 1 現代社会と社会福祉 1) 社会福祉理念の発達 2) 概念と範囲 3) 役割と意義 2 社会福祉対象の把握方法 3 社会福祉援助の具体的な形態の方法 4 社会福祉援助活動における専門性と倫理 1) 精神保健福祉士法の意義と内容 2) 社会福祉士及び介護福祉士法の意義と内容 3) 社会福祉専門職及び機能専門職の専門性と内容 4) 保健・医療等関連分野の専門職と連携のあり方 5) 社会福祉援助活動と倫理 5 社会事業法・福祉六法及び関連法規の内容及び関係 1) 福祉関係法制と実施体制及び財政の概要 2) 社会福祉の実施体制 3) 社会福祉の財政と費用負担 4) 介護保険と社会福祉の関係 6 社会福祉を巡る我が国及び諸外国の動向 | |

| 現代社会と福祉(見直し案) | |
|---|--|
| <p align="center">ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 ・ 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 ・ 福祉政策の課題について理解する。 ・ 福祉政策の構成要素(福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む。)について理解する。 ・ 福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む。)の関係について理解する。 ・ 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。 | |
| <p align="center">含まれるべき事項</p> ①現代社会における福祉制度と福祉政策 ②福祉制度の発達過程 ③福祉政策におけるニーズと資源 ④福祉政策の課題 ⑤福祉政策の構成要素 ⑥福祉政策と関連政策 ⑦相談援助活動と福祉政策の関係 | |

| 福祉行財政と福祉計画(見直し案) | |
|---|--|
| <p align="center">ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉の行財政について理解する。 ・ 福祉計画の意義や目的、方法、留意点について理解する。 | |
| <p align="center">含まれるべき事項</p> ①福祉行政の実施体制 ②福祉の財源 ③福祉行政の組織及び団体の役割 ④福祉行政における専門職の役割 ⑤福祉行財政の動向 ⑥福祉計画の意義と目的 ⑦福祉計画の主体と方法 ⑧福祉計画の実際 | |

社会福祉士の見直しにおいては、「相談援助の基盤と専門職」の新科目を設定
 現行の非共通科目「精神保健福祉技術援助論」において整理を検討

精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

| 社会保障論(現行) | 社会保障(見直し案) |
|--|--|
| 目標 | ねらい |
| 1 現代社会における社会保障の理念と意義について理解させる。 2 社会保障制度の体系について理解させる。 3 社会保障の各制度の概要について理解させる。 4 我が国の年金保険について熟知させる。 5 我が国の医療保険について熟知させる。 6 我が国の介護保険について熟知させる 7 我が国の民間保険の概要と公的施策との関係について理解させる。 8 社会保障の実施体制及び専門性について理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会における社会保障制度の課題(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。)について理解する。 ・ 社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する。 ・ 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ・ 社会保障制度の体系と概要について理解する。 ・ 年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。 ・ 諸外国における社会保障制度の概要について理解する。 |
| 内容 | 含まれるべき事項 |
| 1 <u>現代社会と社会保障</u> 1) 社会保障理念の発達 2) 概念と範囲 3) 役割と意義 2 <u>社会保障制度の体系</u> 3 <u>社会保障を構成する各制度の目的、対象、給付内容及び財源の概要</u> 1) 年金保険 2) 医療保険 3) 労災保険 4) 失業保険(雇用保険) 5) 家族手当(児童手当) 6) 公的扶助 7) その他関連制度 4 <u>我が国の年金保険制度とその具体的内容</u> 1) 国民健康保険 2) 健康保険 3) 各種共済組合の医療保険 | ①現代社会における社会保障制度の課題(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。) ②社会保障の概念や対象及びその理念 ③社会保障の財源と費用 ④社会保険と社会扶助の関係 ⑤公的保険制度と民間保険制度の関係 ⑥社会保障制度の体系 ⑦年金保険制度の具体的内容 ⑧医療保険制度の具体的内容 ⑨諸外国における社会保障制度の概要 |

精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

| 公的扶助論(現行) | 低所得者に対する支援と生活保護制度(見直し案) |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">目標</p> <p>1 現代社会における公的扶助の理念の意義について理解させる。 2 生活保護のしくみと近年の動向について理解させる。 3 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方について理解させる。</p> | <p style="text-align: center;">ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する。 ・ 生活保護制度について理解する。 ・ 自立支援プログラムの意義とその実際について理解する。 ・ 生活保護制度に係る他の法制度(民法、労働法、住宅政策、低所得対策、ホームレス対策を含む。)について理解する。 |
| <p style="text-align: center;">内容</p> <p>1 現代社会と公的扶助 1) 公的扶助理念の発達 2) 概念と範囲 3) 役割と意義</p> <p>2 低所得問題対策の概要</p> <p>3 生活保護制度のしくみ 1) 目的 2) 基本原理 3) 保護の原則 4) 保護の種類と内容 5) 保護の機関と実施体制及び財源 6) 保護施設の種類 7) 被保護者の権利及び義務</p> <p>4 生活保護の最近の動向</p> <p>5 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方 1) 組織・専門職 2) 連携のあり方</p> | <p style="text-align: center;">含まれるべき事項</p> <p>①低所得層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際</p> <p>②生活保護制度</p> <p>③生活保護制度における組織及び団体の役割と実際</p> <p>④生活保護制度における専門職の役割と実際</p> <p>⑤生活保護制度における他職種連携、ネットワーキングと実際</p> <p>⑥福祉事務所の役割と実際</p> <p>⑦自立支援プログラムの意義と実際</p> <p>⑧低所得者対策</p> <p>⑨低所得者へ住宅政策</p> <p>⑩ホームレス対策</p> |

精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

| 地域福祉論(現行) | 地域福祉の理論と方法(見直し案) |
|---|--|
| 目標 1 地域福祉に理念と内容について理解させる。 2 地域福祉の推進方法について理解させる。 3 地域福祉の現状について理解させる。 | ねらい ・ 地域福祉の基本的な考え方(人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む。)について理解する。 ・ 地域福祉の主体と対象について理解する。 ・ 地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。 ・ 地域福祉におけるネットワーキング(他職種・他機関との連携を含む。)の意義と方法及びその実際について理解する。 ・ 地域福祉の推進方法(ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法とサービスの評価方法を含む。)について理解する。 |
| 内容 1 現代社会におけるコミュニティと地域福祉 2 現代社会と地域福祉 1) 地域福祉理念の発達 2) 概念と範囲 3) 役割と意義 3 地域福祉の構成 4 地域福祉の推進方法 1) 推進の基本的な考え方 2) 公私関係及び役割分担 3) サービス提供組織 4) マンパワーの構成及びその動員方法 5) 財源の構成とその調達の方法 6) 地域福祉推進の具体的な組織、団体、専門職及びその連携のあり方 5 地域福祉の現状 | 含まれるべき事項 ① 地域福祉の基本的な考え方 ② 地域福祉の主体と対象 ③ 地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民 ④ 地域福祉の推進方法 |

精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

| 心理学(現行) | 心理学理論と心理的支援(見直し案) |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">目標</p> | <p style="text-align: center;">ねらい</p> |
| <p>1 心理学の概要を理解させる。 2 乳幼児期・児童期・青年期・老年期等人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的・心理的特徴について理解させる。 3 心理学理論による人間理解とその技法の基礎について理解させる。 4 心理学的援助技術法の概要について理解させる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する。 ・ 人の成長・発達と心理との関係について理解する。 ・ 日常生活と心の健康との関係について理解する。 ・ 心理的支援の概要について理解する。 |
| <p style="text-align: center;">内容</p> | <p style="text-align: center;">含まれるべき事項</p> |
| <p>1 人間の心理学的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 欲求・動機づけと行動 2) 感情・情動 3) 感覚・知覚・認知 4) 学習・記憶・思考 5) 知能・創造性 6) 人格 7) 適応と適応以上 <p>2 人間の成長・発達と心理</p> <p>3 人間理解のための心理学理論と技法</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 基礎理論 <ul style="list-style-type: none"> ① 精神分析 ② 行動分析 2) 測定と診断 <ul style="list-style-type: none"> ① 発達 ② 知能 ③ 性格 <p>4 心理学的援助技法の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 心理療法(個別面接法・集団面接法) 2) 家族心理療法 3) 行動療法 | <ul style="list-style-type: none"> ① 人の心理学的理解 ② 人の成長・発達と心理 ③ 日常生活と心の健康 ④ 心理的支援の概要及びソーシャルワークとの概要 |

精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

| 社会学(現行) | 社会理論と社会システム(見直し案) |
|--|---|
| 目標 | ねらい |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 現代社会の特質について理解させる。 2 現代社会における家族や地域社会の特徴について理解させる。 3 現代社会における社会問題について理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会理論による現代社会の捉え方を理解する。 ・ 生活構造について理解する。 ・ 人と社会の関係について理解する。 ・ 社会問題について理解する。 |
| 内容 | 含まれるべき事項 |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 現代社会の変化と国民の生活及び意識の変化 2 現代社会の科学技術 <ol style="list-style-type: none"> 1) 科学技術の展開 2) 現代社会と科学技術 3) 情報化社会と国民生活 3 現代社会と専門職 4 現代社会における家族 <ol style="list-style-type: none"> 1) 機能及び形態 2) 機能 3) 変化 4) 家族と地域社会 5 現代社会における地域社会 <ol style="list-style-type: none"> 1) 都市化と地域社会 2) 過疎化と地域社会 3) 地域社会の社会集団・組織 6 現代社会における社会問題 | <ol style="list-style-type: none"> ①現代社会の理解 ②生活構造の理解 ③人と社会の関係 ④社会問題の理解 |

精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

| 医学一般(現行) | 人体の構造と機能及び疾病(見直し案) |
|--|---|
| 目標 | ねらい |
| 1 人体の基本的な構造や機能について理解させる。 2 臨床医学の各分野の概要について理解させる。 3 医学的リハビリテーションの概要について理解させる。 4 現代社会の代表的な疾患について理解させる。 5 公衆衛生の概要について理解させる。 6 保健医療対策の概要について理解させる。 7 医事法制と保健・医療機関及び専門職について理解させる。 | ・心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。 ・国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要について理解する。 ・リハビリテーションの概要について理解する。 |
| 内容 | 含まれるべき事項 |
| 1 <u>人体の構造・機能</u> 2 <u>一般臨床医学(内科学、外科学、整形外科学、精神・神経科学等)の概要</u> 3 <u>医学的リハビリテーションの概要</u> 4 <u>現代社会の疾病</u> 1)がん、成人病 2)各種感染症 3)エイズ 4)精神・神経疾患 5)先天性疾患 6)難病 5 <u>公衆衛生の現状</u> 1)人口動態 2)疾病と受療状況 3)医療関係者 4)医療施設 6 <u>保健医療対策の現状</u> 7 <u>医事法制と保健・医療機関及び専門職</u> 1)医療法、医師法、保健師助産師看護師法等、医事法制の概要 2)保健・医療機関、専門職と福祉専門職の連携のあり方 | ①人の成長・発達 ②心身機能と身体構造の概要 ③国際生活機能分類(ICF)の基本的考え方と概要 ④健康の捉え方 ⑤疾病と障害の概要 ⑥リハビリテーションの概要 |
| | 保健医療サービス(見直し案) |
| | ねらい |
| | ・医療保険制度(診療報酬に関する内容を含む。)の概要について理解する。 ・保健医療サービスの概要と保健医療サービスにおける他職種協働についての理解する。 |
| | 含まれるべき事項 |
| | ①医療保険制度 ②診療報酬制度 ③保健医療サービスの概要 ④保健医療サービスにおける専門職の役割と実際 ⑤保健医療サービス関係者との連携と実際 |